

アナフィラキシーが起こったときの対処

< アナフィラキシーとは >

- 原因物質が体内に侵入後、5~30分で全身に症状が出る強いアレルギー反応のこと
- 食品、ハチ毒、医薬品、ラテックス(天然ゴム由来の成分)などが原因で起こることが多い
- 重度(ショック状態)の場合、放置すると死に至ることがある

< 症状(複数同時にみられます) >

- 体中に赤み、ぶつぶつが出る
- くしゃみや強い咳が出る
- 顔が青白くなり、立ってられない
- ゼーゼーする呼吸
- 腹痛、吐き気
- など

アナフィラキシーが起こった...



救急車を呼ばない場合

救急車を呼んだ場合

アナフィラキシー症状が少し回復

医薬品のエピペンを使用

アナフィラキシー症状が少し回復

その場で様子安静にする
の様子を見る

医師の診察・治療をすぐ受けることができない

救急車で病院へ搬送



医師の診察・治療をすぐ受けることができる

再びアナフィラキシーが起こったら対処できない

再びアナフィラキシーが起こっても対処できる(または、再発を回避できる)

引用: VIATRIS HP

アナフィラキシーは、医薬品のエピペンを使用した後も再び起こることがあります。エピペンは、あくまで病院へ搬送するまでの時間を稼ぐためのものです。そのため、エピペンを使用した後はすぐに救急車を呼び、病院へ搬送する必要があります。

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 出張相談会 保健室に学校薬剤師が来ます 》
ドラッグレターの内容、医薬品や健康、薬物乱用などについて、相談・聞きたいことがある人は保健室まで!
11月14日(木) 12時35分 ~ 13時20分

作成・発行元 北陸大学薬学部
教授 大柳賀津夫(学校薬剤師)
准教授 岡本晃典(薬剤師)
5年生 明正光司、谷口圭吾



データベース（WEB サイト）における「解説やもっと知ってほしいことなど」で表示するもの

アナフィラキシーとは

アレルギーを起こす原因物質である抗原（アレルゲン）が体内に侵入後、免疫が過剰に働き、**5～30分で全身に症状が出る強いアレルギー反応**のこと。食品（小麦、そば、卵の白身など）、ハチ毒、医薬品、ラテックス（天然ゴム由来の成分）などがアレルゲンになりやすいことが分かっています。初めてアレルゲンを食べたり、アレルゲンに触れた時、いきなりアナフィラキシーが起こることはまれで、たいていは軽いアレルギー反応のみです。しかし体は、アナフィラキシーがいつでも起こってしまう準備段階になってしまうのです。これを専門用語で**感作（かんさ）**といいます。ハチに刺された場合、1回目よりも2回目以降の方が危ないと言われているのは、そのためです。アナフィラキシーが重度の場合、ショック状態（全身の臓器・組織への血流が悪くなる生命危機の状態）になり、死に至ることがあります。

エピペン

食品やハチ毒などにアレルギーを持つ人は、『エピペン』という注射薬を自分で持っている、もしくは学校の保健室などで保管しています。

アナフィラキシーが重度の場合、放置すると死に至ることがあります。そのため医師の治療を受けるまでの間、**症状の進行を一時的に遅くし、ショック状態になることを防ぐため『エピペン』が必要**になります。

- ・体中に赤み、ぶつぶつが出る
- ・くしゃみや強い咳が出る
- ・顔が青白くなり、立ってられない
- ・ゼーゼーする呼吸
- ・腹痛、吐き気

などの症状が**複数同時に**現れたらショック状態になりやすいので、**直ちに『エピペン』を注射し、その後すぐに救急車を呼びましょう。**

『エピペン』は、周囲の人が本人に注射してあげてもかまいません。『エピペン』を注射する場所は**太ももの前面から外側に約45度の部分で、ズボンの上からでも注射**できます。

アナフィラキシーかどうか**迷ったら、『エピペン』を注射**してください。ショック状態までならない人に『エピペン』を注射しても健康被害はないか軽微なので、死に至るよりマシと考え、ためらわず『エピペン』を注射してください。

<『エピペン』の使い方>

1. 準備

携帯用ケースのカバーキャップを指で押し開け、『エピペン』を取り出します。

オレンジ色のニードルカバー（針カバー）を下に向けて、『エピペン』のまん中を片手でしっかり

と握り、もう片方の手で青色の安全キャップを外してロックを解除します。

(オレンジ色のニードルカバーの先端に指などを当てると針が出てくるため、絶対に当てないでください。)

2. 注射

エピペンを太ももの前外側の部分(太ももの前面から外側に約45度の部分)に、さらに太ももに対して垂直になるようにした後、オレンジ色のニードルカバーの先端を太ももに「カチッ」と音がするまで強く押し付けます。

太ももに押し付けたまま数秒間待ち、その後、『エピペン』を太ももから抜きます。

(緊急時は、衣類の上から太ももに注射してください)

3. 確認

注射後、オレンジ色のニードルカバーが伸びている(長くなっている)かどうかを確認します。

ニードルカバーが伸びていれば注射は完了です(針はニードルカバー内にあります)。

4. 片付け

使用済みの『エピペン』は、オレンジ色のニードルカバーの方から携帯用ケースに戻します。

(注射後は、オレンジ色のニードルカバーが伸びているため、携帯用ケースのふたは閉まりませんので、無理に閉めようとしないでください)

以下のサイトから、動画を視聴することができます

(VIATRIS HP エピペンサイト <https://www.epipen.jp/top.html>)

『相談薬局★』一覧



医薬品や健康、薬物乱用などに関して分からないことがあったり、もっと色々知りたいと思ったとき、相談薬局の薬剤師が相談に乗ってくれたり教えてくれます。気軽に薬局に行っても電話しても大丈夫です！（薬局が混雑しているときは、相談がすぐにできなかつたり、返事が遅くなる場合があります）

かかりつけの薬局がある場合は、そちらに相談しましょう。

たかやま薬局

住所：末町 19-67
電話：076-229-0031
月～金 9:00～18:30
土 9:00～17:00
**スポーツファーマシスト
がいます！**



末町明德薬局

住所：末町 16-21-3
電話：076-229-2733
月・火・木・金
9:00～18:30
水 9:00～17:00
土 9:00～13:00



てまり涌波薬局

住所：涌波 1-8-33
電話：076-213-5005
月～金 9:00～18:00
土 9:00～13:00



田上はなの木薬局

住所：田上の里 2-146
電話：076-234-1210
月～金 9:00～18:00
土 9:00～13:30



朝霧台あおば薬局

住所：田上本町 3-203
電話：076-263-7800
月・火・木・金
9:00～18:00
水 9:00～17:00
土 9:00～13:00



もりの里はなの木薬局

住所：田上の里 2-148
電話：076-234-1170
月～土 9:00～18:30



小立野あおば薬局

住所：小立野 3-12-18
電話：076-254-1872
月・火・木・金
9:00～18:15
水 9:00～15:45
土 9:00～13:00



小立野台コメヤ薬局

住所：小立野 2-42-36
電話：076-224-9191
月～金 9:00～19:00
土 9:00～13:00



中村漢方薬局

住所：石引 1-5-23
電話：076-231-3758
月～金 9:00～19:00
土 9:00～17:00



合名会社 吉野薬局

住所：石引 2-6-5
電話：076-231-5147
月～金 9:00～19:00
土 9:00～18:00

